

九州のいのち、えがいてみよう！

対馬野生生物保護センターにて

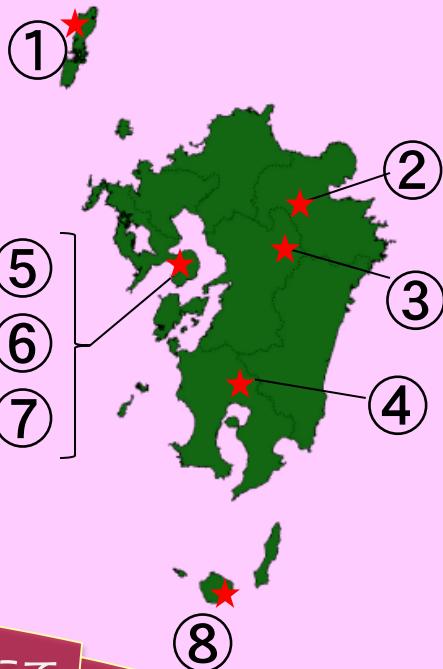


① 「人もヤマネコも暮らせる対馬」をテーマに、蜂洞、石屋根、高床倉庫群、韓国等々、対馬ならではの自然、文化を詰め込みました。島内の中学生たちや来館者の方々に、対馬の生物多様性を楽しく描いて頂きました。

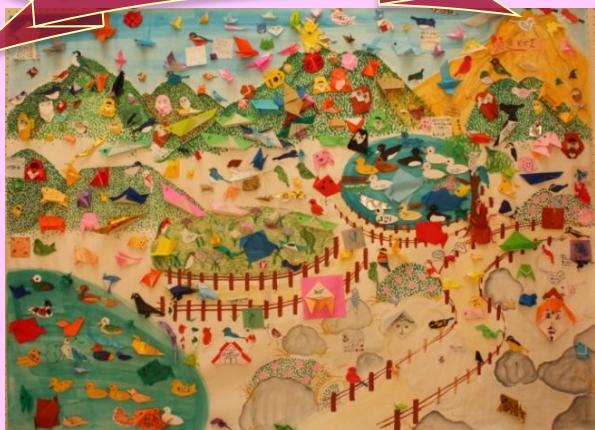
長者原ビジターセンターにて



② くじゅう連山と山麓のタデ原湿原の絵に、来館者の方に生きものの絵や折り紙をはりつけてもらいました。高山帯や湿原ならではの植物や、鳥、昆虫、動物など、とてもたくさんの生きもので賑わいました！



雲仙お山の情報館にて



⑤ 国立公園雲仙の自然の名所を一枚に表現してみました。お山の情報館に来館された、多くの方に雲仙のいきものをえがいてもらいました。雲仙の自然が、隠れるほど生きものでいっぱいになりました。

南阿蘇ビジターセンターにて



③ 阿蘇の四季を描いたカルデラ上に、折り紙など様々な技法を用いて阿蘇の生態系と人とのつながりを表現しました。イベント期間中は来館者への呼びかけ、環境学習などで魅力いっぱいの阿蘇のいきものを描きました！

平成新山ネイチャーセンターにて



⑥ 普賢岳の平成噴火によって焼け野原になってしまった垂木台地の将来の姿をイメージして、作品を作っていただきました。大地には色とりどりの花が咲き、昆虫もいます。大空はたくさんの蝶や鳥たちで埋め尽くされました。

えびのエコミュージアムセンターにて



④ 標高1200mのえびの高原と320mの御池の2枚の背景に、センターの来館者が絵を描いてくれました。えびの高原には美しい草花や蝶などが、御池にはカモやイノシシがたくさん描かれていますね！

雲仙諏訪の池ビジターセンターにて



⑦ 諏訪の池や周辺の森林、田畑、海までの風景を描いたものをセンターの入り口に置き、来館者に自由に作品を作って頂きました。また、自宅で作ってわざわざ持参して下さった方もいました。諏訪の池の生き物の豊かさを感じる1枚となりました。

屋久島世界遺産センターにて



⑧ 屋久島町内の小中学校と福祉施設6ヶ所を巡り、屋久島・口永良部島の命が集結！！世界遺産センター来館者にも追加され、海中から九州最高峰 宮之浦岳まで標高差2000mの生物多様性が描かれています。